

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
及び地域公共交通計画の評価結果 概要（全体）

## 御嵩町地域公共交通会議 （岐阜県御嵩町）

平成20年1月17日 設置

令和2年7月30日 御嵩町地域公共交通網形成計画策定  
（計画期間：令和2年度～令和7年度）

令和5年1月16日 令和4年度評価結果送付

# 1. 【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

## 御嵩町の概要

- 人口:17,968人(R4.1.1時点)令和22年は約14,500人想定 /65歳以上人口割合:約32.4%(R4.1.1時点)令和22年は約38%想定
- 御嵩駅周辺、住宅団地、伏見地区(西側地域)に人口集積。他方、上之郷地域(東側地域)の過疎化が顕著。
- 通勤・通学流動は、隣接市町である可児市、八百津町との結びつきが強い。

## 御嵩町における計画策定の経緯

利用者減少と  
利用手段目的  
の多様化

概況整理

- ・人口推移
- ・関連計画
- ・周辺自治体の状況 等

観光分野での  
活用検討

調査

- ・住民、利用者アンケート
- ・乗降調査

集約課題

- ①路線で異なる利用目的や非利用者が利用可能となる  
**移動ニーズ等への対応**
- ②将来都市構造の構築を見据えた**公共交通の役割の明確化**
- ③御嵩町及び周辺都市を含めた交通圏の移動需要に対応した  
**公共交通手段の確保**
- ④わかりやすい情報・案内の提供や利用しやすいバス交通への  
**サービス改善**

## 御嵩町地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和7年度) 令和2年7月策定

交通将来像 **みたけファンのくらしと交流を支える交通のまち**

### 基本方針Ⅰ

御嵩町の将来都市構造を支える  
公共交通ネットワークの形成

<目標>

町内の公共交通の利便性・生産性向上

### 基本方針Ⅱ

広域連携・交流を促進する  
新たな広域路線の導入に向けた取り組みの推進

<目標>

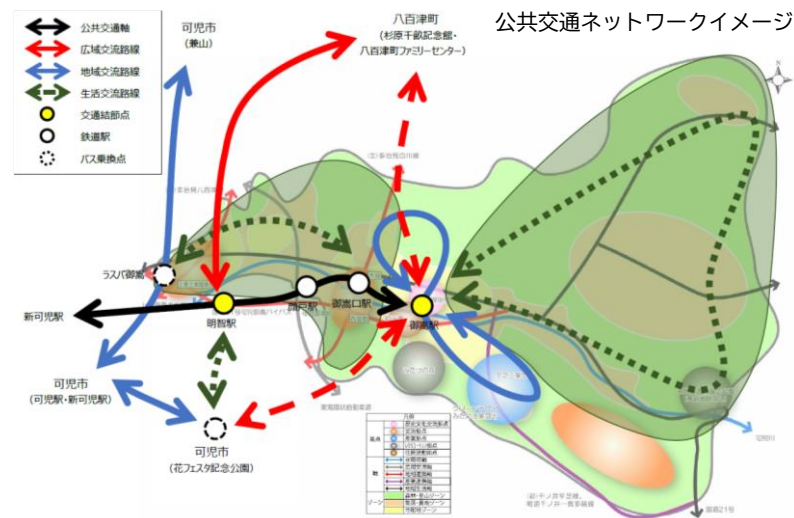
周辺市町など広域的な移動の増加

### 基本方針Ⅲ

わかりやすく・利用しやすい  
公共交通利用促進施策の展開

<目標>

公共交通の認知度・満足度の向上



### 公共交通軸

名古屋鉄道  
(名鉄広見線)

### 広域交流路線

YAOバス  
(可児市、八百津町と共同/  
定時定路線)

### 地域交流路線

ふれあいバス  
みたけ・なか線/工業団地・南山台線  
(自主運行/定時定路線)

### 生活交流路線

ふれあい予約バス  
かみのごう線/ふしみ線  
(自主運行/デマンド型バス)

### 個別輸送

一般タクシー

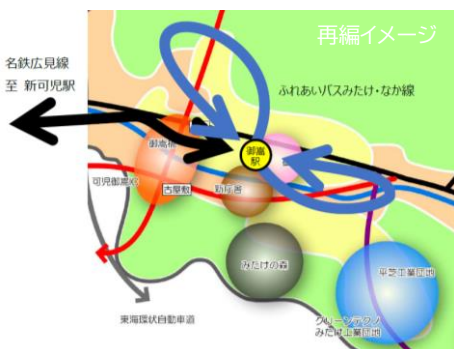
## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

## 実施事業分野. 公共交通ネットワークの再編

実施内容	実績	結果	考察
地域交流路線(ふれあいバス)再編・運行	令和3年10月に <b>ふれあいバスみたけ・なか線</b> を再編し運行	再編前と比較して <b>利用者数増加</b> R3.10~R4.9 4,797人 R2.10~R3.9 4,563人 R1.10~R2.9 4,646人	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の公共交通軸となる<b>御嵩駅へのアクセス回数を向上</b>させたことにより、利用者が増加</li> <li>令和2年度に町ゆかりの武将・可児才蔵をラッピングした<b>新車両導入による視認性向上</b>も後押ししたと推測</li> </ul>

## 実施事業分野. 公共交通の利用促進施策

実施内容	実績	結果	考察
コンビニを活用したミーティングポイントの設置	令和3年4月より、町内 <b>コンビニにミーティングポイントを設置</b> (ファミリーマート3店舗、セブンイレブン1店舗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングポイントを設置した<b>ふれあい予約バスふしみ線の利用者数・乗合率増</b>【R3数値(前年度比)】 利用者数:4,914人(+1,612) 乗合率:2.2人/台(+0.4)</li> <li>4店舗中2店舗は毎日1回以上の利用あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域企業や各種団体と一体となった利用促進施策の実施」という目的に即した事業であり、結果のとおり効果が認められる</li> <li>企業側にもメリットが発生する仕組みであるといえるため、コンビニへのヒアリングを行いながら、<b>連携する地域企業を増やしていくことが利用促進及び地域活性化に効果的</b>といえる</li> </ul>
ケーブルテレビやコミュニティFMでの公共交通情報の発信	令和3年10月より、ケーブルテレビ可児の <b>dデータにふれあいバス時刻表を表示</b>	上段結果のとおり、ふれあいバスの <b>利用者数増加</b>	「多様な方法での公共交通情報の周知・広報」という目的に即した事業であり、結果のとおり間接的な効果が認められるといえる



## 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

目標	目標値 (指標)	現況値		実績値		目標値	達成 状況	R3年度結果からの考察
		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2025 (R7)		
公共交通全 体の利用者 数の増加	公共交通全体の利用者数(人/日) ※名鉄広見線・ふれあいバス・ふれあい予約バス・YAOバス・可児市さつきバス・一般タクシーの年間利用者数から算出	2,973	2,926	2,273	2,332	3,030	×	ふれあいバス、ふれあい予約バスなどは前年比増の状況であるが、特に名鉄広見線の利用者が十分に戻らず、現況値・目標値に届かず。
	町内の公共交通の利用者数(人) ※ふれあいバス・ふれあい予約バスの年間利用者数	24,112	20,949	17,946	22,259	(未設定)	×	路線再編やコンビニミーティングポイント設置により、ふれあいバス、ふれあい予約バスなどは前年比増の状況であるが、総計では現況値に届かず。
利用者一人 当たりの町支 出額の減少	ふれあいバス利用者一人当たりの町支出額(円/人)	1,080	1,287	1,556	1,270	現況値 以下	×	利用者増によりR2比では負担分が減少したものの、みたけなか線の路線再編により運行距離が増加し運行経費が増加したことにより目標未達成。
	ふれあい予約バス利用者一人当たりの町支出額(円/人)	880	1,164	1,286	1,203	現況値 以下	×	ふしみ線は運行単価微減だが、かみのごう線の運行単価増加が影響し、目標未達成。
名鉄広見線 の利用者数 の増加	名鉄広見線の年間利用者数(人) ※名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)の年間乗車客数の合計	896,043	906,703	708,622	724,566	896,100	×	特に通勤・通学定期について生活様式の変化(リモートワーク、自家用車移動、送迎)により減少し、コロナ前まで戻り切らず、現況値、目標値に届かず。
御嵩町・可児市・八百津町の主要観光施設への観光入込客数の増加	中山道みたけ館、花フェスタ記念公園、人道の丘公園の年間観光入込客数(人)	46万	45.6万 ※岐阜県観光統計	34.8万 ※岐阜県観光統計	40万 ※市町間取	54万 5,900	×	コロナ禍によるインバウンド含む観光客の減少がR3も引き続き、現況値、目標値に届かず。
関係者が連携・協働した取り組みの増加	関係者が連携・協働した取り組みの件数(件)	3	3	1	4	年間9	×	R3はケーブルテレビ、ラジオ局、コンビニ2社との協働により4件計上。住民との協働取組が実施できず。現況値よりは上回ったものの、目標未達成。

目標	到達点・課題	今後の対応方針
公共交通全体の利用者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバス工業団地・南山台線及び予約バスふしみ線は、コロナ禍前より利用者増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業団地・南山台線の利用増は工業団地内企業活動の変化が要因と推測。周辺道路の渋滞緩和のメリットもあることから、<b>工業団地内企業へのPRを継続</b>。</li> <li>ふしみ線については<b>地域内企業と連携したミーティングポイントを増設</b>し、利便性向上と地域活性化を目指す。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスみたけ・なか線及び予約バスかみのごう線は、コロナ禍前水準には戻っていないが回復傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みたけ・なか線については、路線再編の効果を引き続き観測。新たに<b>各バス停通過時乗客数を可視化</b>したため、利用状況に応じた<b>適切なルート設定の分析</b>を進める。</li> </ul>
利用者一人当たりの町支出額の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスみたけ・なか線の収支改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線再編により増加した運行経費を補うために、費用対効果を見極めつつ、<b>電子決済などのデジタル技術活用</b>を積極的に検討していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい予約バスの収支改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の<b>高い乗合率(2.2人/台)</b>を維持するため、自治会や住民組織へのPRを進め、地域ぐるみの<b>福祉視点からのアプローチを強化</b>する。</li> </ul>
名鉄広見線の利用者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>名鉄広見線の通勤・通学利用者の低迷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名鉄広見線活性化協議会及び地域のステークホルダー(住民、教育機関等)による活性化に向けた活動を継続する。</li> <li>上記と並行して、<b>地域モビリティ刷新検討会の提言を踏まえた今後の在り方</b>について関係者との協議を進める。</li> </ul>
御嵩町・可児市・八百津町の主要観光施設への観光入込客数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍による観光需要減により新規広域交流路線の検討が停滞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記の<b>名鉄広見線の今後を踏まえて</b>市町・関係者と協議を進める。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンド観光への対応が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行情報のGTFISを引き続き更新するとともに、公共交通機関全体の<b>多言語化を地元高校生などと連携</b>して進め、中部国際空港～名鉄広見線を軸とした広域観光需要に対応していく。</li> </ul>
関係者が連携・協働した取り組みの増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなステークホルダーの掘り起こし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの根幹を担う公共交通という視点から、<b>分野横断的に潜在的なステークホルダーを掘り起こし</b>、新たな連携体制を生み出す。</li> </ul>

## 直近2年間の二次評価がないため未記載

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回			
前々回			

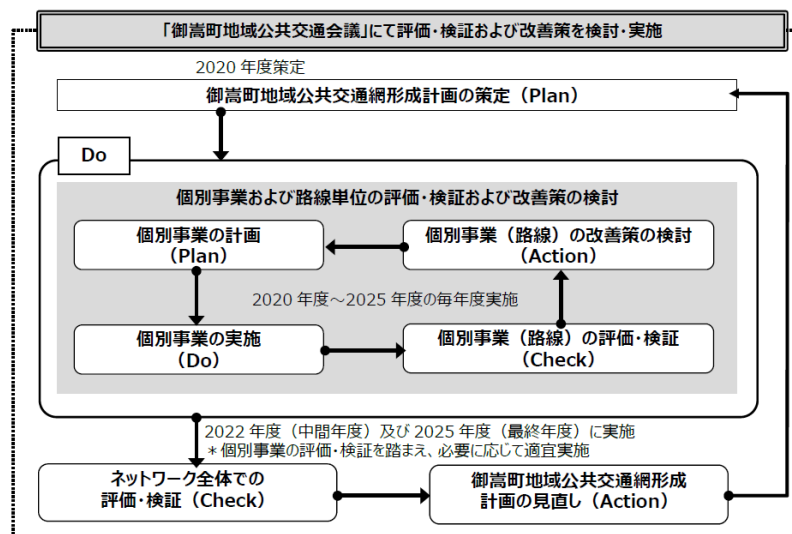
※前回：○年○月○日、前々回：○年○月○日

## 6.計画・評価の推進体制

### 計画における事業実施スケジュール(抜粋)

実施事業分野. 公共交通ネットワークの再編	2020	2021	2022	2023	2024	2025
広域交流路線(新設路線)の導入検討		準備		実証運行		本格運行
地域交流路線(ふれあいバス)の再編・運行				事業実施		
実施事業分野. 交通結節点の整備						
待合環境(上屋・ベンチ等)の充実				事業実施		
実施事業分野. 公共交通の利用促進施策						
公共交通情報の多言語化	準備			事業実施		
ケーブルテレビやコミュニティFMでの公共交通情報の発信	準備			事業実施		
コンビニを活用したミーティングポイントの設置				事業実施		
実施事業分野. 評価及び推進体制						
御嵩町ふれあいバス等公共交通研究会の開催				事業実施		
地域公共交通会議の開催				事業実施		

### 公共交通ネットワークの評価・検証の流れ



### 御嵩町公共交通会議等の実施状況

- 令和3年度
- 令和3年度 第1回 公共交通会議 R3. 7. 27  
【主議題】
    - ・バス停(ふれあいバス及び予約バス)の新設・廃止・名称変更について
    - ・計画進捗状況について
    - ・ふれあいバス路線再編に伴う手続きの状況について
    - ・ふれあいバス時刻表のdデータ表示について
- 令和4年度
- 第24回ふれあいバス等公共交通研究会 R4. 8. 8  
※町の附属機関として、町民と福祉関係者で組成される研究会であり、議題は公共交通会議と同じ
  - 令和4年度 第1回 公共交通会議 R4. 8. 22  
【主議題】
    - ・バス停(予約バス)の新設について
    - ・可見市さつきバス1日乗車券について
    - ・計画進捗状況について

**<地域公共交通計画の評価等結果の様式>**

御嵩町地域公共交通網形成計画の評価等結果（令和3年4月～令和4年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通全体の利用者数の増加 【公共交通全体の利用者数】 2,973人/日（H30）→3,030人/日（R7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者にとってわかりやすい交通情報の提供</li> <li>多様な方法での公共交通情報の周知・広報</li> <li>みたけファンと一体となった利用促進施策の実施</li> <li>地域企業や各種団体と一体となった利用促進施策の実施</li> </ul>	各事業者による利用データから算出	<p>■2,332人/日（R3年度）未達成</p> <p>ふれあいバス、ふれあい予約バスなどは前年比増の状況であるが、特に名鉄広見線の利用者が十分に戻らず、現況値・目標値に届かず。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業団地・南山台線の利用増は工業団地内企業活動の変化が要因と推測。周辺道路の渋滞緩和のメリットもあることから、工業団地内企業へのPRを継続。</li> <li>ふしみ線については地域内企業と連携したミーティングポイントを増設し、利便性向上と地域活性化を目指す。</li> <li>みたけ・なか線については、路線再編の効果を引き続き観測。新たに各バス停通過時乗客数を可視化したため、利用状況に応じた適切なルート設定の分析を進める。</li> </ul>	—
公共交通の不満割合の減少 【公共交通全体の不満割合】 22.8%（H30）→H30値以下（R7）	—	—	—	—	計画終了年度（R7）に住民等アンケートを実施し把握予定。
利用者一人当たりの町支出額の減少 【ふれあいバス利用者一人当たりの町支出額】 1,080円/人（H30）→H30値以下（R7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流路線（ふれあいバス）の再編・運行</li> <li>定期券・回数券の発行</li> </ul>	事業者による利用データと町の支出状況から算出	<p>■1,270円/人（R3年度）未達成</p> <p>利用者増によりR2比では負担分が減少したものの、みたけなか線の路線再編により運行距離・経費が増加したことにより目標未達成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線再編により伸びた運行経費を補うために利用者（＝運行収入）増加を図る。費用対効果を見極めつつ、電子決済などのデジタル技術活用を積極的に検討していく。併せて、観光需要に対応できるような取組を検討し、収支改善を図る。</li> </ul>	—
利用者一人当たりの町支出額の減少 【ふれあい予約バス利用者一人当たりの町支出額】 880円/人（H30）→H30値以下（R7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻表・路線図の見直し・作成</li> <li>コンビニを活用したミーティングポイントの設置</li> <li>障がい者の運賃割引制度の継続運用</li> </ul>	事業者による利用データと町の支出状況から算出	<p>■1,203円/人（R3年度）未達成</p> <p>ふしみ線は運行単価微減だが、かみのごう線の運行単価増加が影響し、目標未達成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の高い乗合率（2.2人/台）を維持するため、自治会や住民組織へのPRを進め、地域ぐるみの福祉視点からのアプローチを強化する。併せて、観光需要に対応できるような取組を検討し、収支改善を図る。</li> </ul>	—
名鉄広見線の利用者数の増加 【名鉄広見線の年間利用者数】 896,043人（H30）→896,100人（R7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>御嵩駅における総合案内板（デジタルサイネージ）の設置</li> <li>パークアンドライド駐車場や駐輪場の確保</li> <li>交通結節点における乗り継ぎを考慮したバスのダイヤ設定</li> </ul>	鉄道事業者による名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の年間乗車客数の合計	<p>■724,566人（R3年度）未達成</p> <p>特に通勤・通学定期について生活様式の変化（リモートワーク、自家用車移動、送迎）により減少し、コロナ前まで戻り切らず、現況値、目標値に届かず。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名鉄広見線活性化協議会及び地域のステークホルダー（住民、教育機関等）による活性化に向けた活動を継続。</li> <li>上記と並行して、地域モビリティ刷新検討会の提言を踏まえた今後の在り方について関係者との協議を進める。</li> </ul>	—
御嵩町・可児市・八百津町の主要観光施設への観光入込客数の増加 【中山道みたけ館、花フェスタ記念公園、人道の丘公園の年間観光入込客数】 463,694人（H30）→545,900人（R7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通情報の多言語化</li> <li>バス運行情報のGTF S化</li> <li>公共交通を利用したイベント等の広報</li> <li>各種イベントポスター等への公共交通情報の掲載</li> </ul>	岐阜県観光統計データ（収集できなければ聞き取り）	<p>■約400,000人（R3年度）未達成</p> <p>コロナ禍によるインバウンド含む観光客の減少がR3も引き続き、現況値、目標値に届かず。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行情報のGTF Sを引き続き更新するとともに、公共交通機関全体の多言語化を地元高校生などと連携して進め、中部国際空港～名鉄広見線を軸とした広域観光需要に対応していく。</li> </ul>	—



目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通の認知度の向上 【自宅近くを走るバスの運行経路の認知度】 10.0% (H30) →H30値以下 (R7)	—	—	—	—	計画終了年度 (R7) に住民等アンケートを実施し把握予定。
公共交通の認知度の向上 【自宅近くを走るバスで行くことのできる施設の認知度】 12.8% (H30) →H30値以下 (R7)	—	—	—	—	同上
公共交通の認知度の向上 【自宅近くを走るバスの乗り方の認知度】 13.3% (H30) →H30値以下 (R7)	—	—	—	—	同上
公共交通の利用しやすさの不満割合の減少 【ダイヤ (時刻表) の不満割合】 30.0% (H30) →H30値以下 (R7)	—	—	—	—	同上
公共交通の利用しやすさの不満割合の減少 【運行経路の不満割合】 38.7% (H30) →H30値以下 (R7)	—	—	—	—	同上
公共交通の利用しやすさの不満割合の減少 【手持ち路線図や時刻表の見やすさの不満割合】 41.9% (H30) →H30値以下 (R7)	—	—	—	—	同上
関係者が連携・協働した取り組みの増加 【関係者が連携・協働した取り組みの件数】 3件 (H30) →年間9件以上 (R7)	・ケーブルテレビやコミュニティFMでの公共交通情報の発信 ・サロン運営者や民生委員と協力した乗り方教室の実施 ・コンビニを活用したミーティングポイントの設置	町が把握している該当の取組を計上	■4件 (R3年度) 未達成 R3はケーブルテレビ、ラジオ局、コンビニ2社との協働により4件計上。住民との協働取組が実施できず。現況値よりは上回ったものの、目標未達成。	・まちづくりの根幹を担う公共交通という視点から、分野横断的に潜在的なステークホルダーを掘り起こし、新たな連携体制を生み出す。	—

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果 (議事録等) 等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。